

# 各地区業況アンケート結果（2020年2月調査分）

（2020年2月25日）

全国鉄鋼販売業連合会

2月21日締切で、当会役員149名に対しこのアンケートを行ったところ79名の回答があり（回答率53.0%）その結果が下記のとおりまとまりましたのでご報告致します。なお、本結果は鉄流懇など重要会議に資料として提出しています。

※  $DI = (A \times 2 + B \times 1 - D \times 1 - E \times 2) \div \text{総回答数} \times 100$ 、(数は回答実数)

## 1. 約7割の企業が前年割れ

問1】貴社の1月（先月）総売上数量・総売上金額は、前年同月と比し如何でしたか？（答）

	A. 10%以上増	B. 5%以上増	C. ほぼ横這い	D. 5%以上減	E. 10%以上減	計	前回
売上数量/前年同月比	5	3	16	25	29	78	78
比率	6%	4%	21%	32%	37%	DI-90	DI-76
売上金額/前年同月比	4	6	11	27	31	79	79
比率	5%	8%	14%	34%	39%	DI-95	DI-77

## 2. 更に収益悪化、赤字が約5割に

問2】貴社の1月（先月）の鉄鋼部門における企業収益状況は、如何ですか？（答）

	A. 黒字	B. 若干黒字	C. 収支トントン	D. 若干赤字	E. 赤字	計	前回
企業収益状況	9	13	18	24	15	79	79
比率	11%	17%	23%	30%	19%	DI-29	DI+1

## 3. 減少傾向で低調な販売続く

問3】貴社の営業窓口から見て2月（今月）の販売量は、前月に比し如何ですか？（答）

	A. かなり増加	B. やや増加	C. ほぼ横這い	D. やや減少	E. かなり減少	計	DI	前回
公共建設向		4	28	17	6	55	-45	-55
民間建設向	1	6	28	22	9	66	-48	-63
自動車向		2	22	14	3	41	-44	-60
その他需要家向	1	4	27	21	13	66	-62	-64
仲間取引		3	25	26	11	65	-69	-69
計	2	19	130	100	42	293	-55	-63
比率	1%	7%	44%	34%	14%			

## 4. 春先も期待感なし

問4】貴社における向う3月から5月までの需要動向について貴殿の予測は如何ですか？（答）

	A. 増加	B. 微増	C. ほぼ横ばい	D. 微減	E. 減少	計	前回
短期需要動向予測	1	7	30	31	9	78	79
比率	1%	9%	38%	40%	12%	DI -51	DI -46

## 5. 過剰きみ傾向続く

問5】下記主要品種の貴地区市場の需給状況は如何ですか？貴社の取扱品種のみについてご記入ください。(答)

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	品種別	A	B	C	D	E		2月
D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	D I	需給状況	非常に不足	不足気味	需給均衡	過剰気味	非常に過剰	計	D I
11	0	0	6	0	-7	-14	-28	-31	-27	-34	-9	-21	鉄筋用丸鋼			24	8		32	-25
0	-3	0	-6	-3	-16	-18	-23	-29	-28	-25	-21	-29	構造用丸鋼		1	23	6		30	-17
0	-3	3	-8	-8	-9	-18	-20	-10	-12	-6	-15	-12	平角鋼		1	29	3		33	-6
36	15	11	-8	-24	-22	-36	-29	-29	-18	-13	-6	-16	H形鋼		1	21	11		33	-30
120	85	57	25	12	4	-11	-15	-26	-11	-19	-22	-16	コラム			18	7		25	-28
-6	-11	-8	-3	-10	-14	-15	-16	-24	-16	-17	-22	-16	小形山形鋼		1	28	7		36	-17
-6	-14	-8	-15	-15	-16	-20	-23	-29	-21	-22	-29	-30	中形山形鋼			28	9		37	-24
-9	-11	-3	-13	-19	-17	-23	-21	-26	-29	-19	-26	-26	溝形鋼		2	24	9		35	-20
-9	-16	-9	-3	-12	-10	-13	-15	-34	-30	-31	-29	-26	軽量形鋼C形			25	4	1	30	-20
0	-9	0	-12	-10	-5	-5	-11	-25	-16	-15	-18	-26	軽量形鋼広巾			17	3		20	-15
0	-3	0	-21	-32	-34	-43	-58	-58	-53	-53	-47	-61	冷延薄板			14	16	1	31	-58
16	-3	-3	-21	-28	-34	-55	-55	-50	-56	-60	-47	-55	熱延薄板			15	15	1	31	-55
0	-7	-10	-32	-43	-45	-52	-53	-68	-59	-53	-52	-63	表面処理鋼板			12	17	2	31	-68
16	3	0	-25	-39	-38	-44	-51	-57	-53	-56	-58	-64	酸洗鋼板			15	16	3	34	-65
18	7	0	-13	-19	-33	-50	-48	-47	-51	-50	-48	-56	中板			23	18	2	43	-51
36	15	17	0	-10	-29	-50	-38	-45	-51	-49	-49	-49	厚板		1	23	15	2	41	-44
6	19	5	0	-13	-12	-32	-25	-20	-28	-22	-32	-29	極厚板			12	5	2	19	-47
-6	6	0	0	0	-14	-19	-13	-29	-27	-21	-23	-25	縞板		1	26	5	1	33	-18
0	-5	-10	-8	-18	-15	-30	-18	-31	-30	-28	-27	-28	中径角		1	26	14		41	-32
13	2	2	-8	-8	-13	-16	-10	-25	-15	-19	-5	-18	ガス管黒			34	6	1	41	-20
0	-5	-5	-13	-19	-5	-17	-11	-22	-16	-17	-5	-17	構造用鋼管			30	8		38	-21
10	2	1	-9	-15	-19	-28	-28	-34	-31	-30	-28	-33	計	0	9	467	202	16	694	-32

## 6. 需要は低調で先行き不透明感募る

問6】貴社の地域の景況、主力取扱品種の需要動向は如何ですか？地域の特殊事情・需要動向・信用問題などを織り交ぜて、概況をお知らせください。(答え)

北海道	A	例年に比して丸棒の荷動きは非常に良くない。春需の見積りも少ない。先行き不透明な現状である。
	B	形鋼は2月に入っても荷動きがなかなか上向かない。全体的に雰囲気良くなく、市況としては弱基調である。しかし、小口中心に引合いは少しずつ増え始めているので3月以降に期待する。
	C	鉄骨価格の値下げが出てきた。ゼネコンの受注競争が始まり、昨年とは状況が変わってきたようだ。
東北	A	1月の出荷が非常に悪い。2月も悪い見通し。
	B	需要が少ない状況の中、メーカー値上げを発表したが、今後浸透するのか。
	C	少ない物件を大切にしていく。
	D	全般的に荷動きは低調。Hファブは県外物件を抱え年内の山積み見通しはほぼ出来ている。その反面、Mクラス以下は山積みの空が多く困っている状況。製造業に関しても受注が低く総じて先行き不透明感が強まっていると言える。
新潟	A	建機、産業機械の動きが更に悪くなり、先行きも不透明。市況価格はジリ安で利益もとれないが、夏から回復との声に期待し、まず春を待つ。
	B	12月後半から荷動き低調、引合いも少ない。一部単価もジリ安傾向あり。
	C	倉出し出荷減少、新規案件も少なく、価格維持も厳しくなってきた。
	D	当地区も、中国との取引企業（車関係、雑貨関係、アパレル関係など）が多くあり、物が動かなくなった。鋼材を売りに行っても、「マスクはありませんか」などと得意先言われている。
	E	新型肺炎のため、中国向け自動車部品がマイナス成長。作業工具は12月以降、落ち込みが顕著である。
	F	ある程度想定してはいたが、1月の需要がなく厳しい月であった。しばらくは我慢の時間が続くだろう。しかし、高炉メーカーの減産や中国の生産状況によっては局面も徐々に変わってきそうである。中国のウィルスによる経済への影響は全く予想できない。
	G	中国の影響で輸出自動車、産業機械、輸入部品の調達難で一部の生産に影響あり。足元は建築需要を含め全体的に低調になっている。
神奈川	A	工作機械の受注が落ち込み苦しい状況。民間建設、公共建設も時期に比べると落ち着いてきている。
	B	大きく変化するとは思わないが、月を追うごとに仕事量が減少している。日々の問合せも良くない。
	C	今期は勝負ついた感があり、引き続き低調である。4～6月に期待するも需要面が弱く難しいか。更に中国経済の変動により、どう影響を受けるか心配である。
東京	A	表面処理鋼板は熱延鋼板、酸洗鋼板、冷延鋼板と比べると需給は落ち着いている。在庫の過剰感も需要の大幅な落ち込みも感じていない。安値を出さなくても売れるのに残念だ。
	B	建築現場は人手不足に加え働き方改革による土日祝日の工事規制のため工程遅れが深刻である。我々にとって納入延期、出荷減少となっている。
	C	某建機メーカーが再び調整を強いられている。その他産業も回復の見通し悪く厳しい。相場も徐々に下げてくる業者も出てきているので採算悪化必至。仕入の調整をしている。

東京	D	自動車、建機、産機、建築すべて低位。更に中国の新型肺炎の影響が想定以上に広がりそうである。先行きの見通しが立たない。
	E	インフルエンザ蔓延で75%操業になった。市況下落にブレーキが利かない。産業機器メーカーからの受注は安定している。二次、三次協力会社からの受注は原則。今後、新型ウイルスによる需要は停滞。消費税増税による消費の落ち込みなどに対し、金融緩和、財政出動による需要の増加促進に期待。
	F	日割り出荷量は今期最低となり、全分野が悪化している。先行きも良い要素がなく大変厳しい環境になっている。
静岡	A	東京五輪の端境説通り、建築物件を中心に停滞模様。大手ファブ、従来の地元工務店クラスの工事案件に貧欲になりつつある。遅延工事の影響か。相変わらず製作図面の遅れは慢性化、胴縁加工関連は納期待ったなしの状況で不可解である。価格水準は保たれているが、荷動きが鈍化し安値も散見される。産パレ業界が動き出す時期であるが、予定していた受注順序が入れ替わり、大手産パレ発注者の慎重さが伺える。第4四半期中に発注願いたい。地域限定で行っている鋼管杭事業の第3四半期は芳しくなかった。第4四半期に持ち越された物件の消化に期待したいがパッとしない。信用不安の風評に若干情報あり。今のような状況になると小耳にはさむことが増える。
	B	地区の需要環境に変化はなく、荷動きは低調。他地区の安値情報、安値玉の流入も散見され、各品種価格は弱含んでいる。建築は一部、遅れはあるものの大手ファブの稼働は安定している。出件数は少ないが、県内他地区よりは物件があるため今後の動向に期待している。但し、現在の外部環境要因が、今後どのような影響をもたらすか注意深く見守りたい。
石川		中国の奇病蔓延で、なんとなく日本国内も暗いムード。鉄も同様に冷えてきた。終息の気配は見えないが元に戻れば相場も落ち着くだろう。電炉メーカーはまあまあだが、高炉メーカーは自滅に近い状況で回復に時間がかかりそうである。下げ相場で先走りする仲間は昔から決まっているが、数は減ってきた。皆、コスト意識がついてきたというか、意識のない企業は消えてしまうだろう。
富山		鋳金業界のみ多忙。その他は少ない。仕事を探している鉄工所が多数あり。3月の仕事は特に少ないが、4～5月から増加に転じる傾向となる。
愛知	A	当地区はT社系列の90日以降の設備投資が予算大幅減となり、大きく全体感が低下した。4月迄の回復見込みは立たない。
	B	悪い状況のなか、コロナウイルスの事件から先行きが読めなくなった。いつ正常に戻って回復に向かうかにかかっているが、現時点では判断できない。大きく落ち込まないことを祈るだけである。
	C	(自動車) 新規案件がなく、減産の話が出てきている。今後の見通しも車種により明暗が分かれる。(家具) 客先の案件が少ないせいか、前年対比ダウンになっている。付加価値製品を拡販していきたい。(陳列) 物件が入り数量増だが、価格は厳しいところが悩みである。できる限り経費を抑えたい。
三重		1月度(12月21日～1月20日)の売上の落ち込みはひどかった。稼働日数の問題だけでなく、仕入先、同業者とも最悪だったようだ。今年に入って様子がすっかり変わってしまった。端境期というが、秋口まで、この状態が続くとすれば、景気減速以外の何物でもない。

岐阜		市中価格が下がっている中、なんとか販売価格を保とうとしているが、H形鋼、鋼板を中心に下落していく。特に条鋼の切断は定尺との差がなくなっていく。工作機向けのユーザーが悪い状況である。恐らく酸洗鋼板がだぶついているのだろうか。営業マンも安易に「売る＝安値」「新規＝安値」になってしまう。これも1つの人手不足ということかもしれない。
大阪	A	例年この時期は物件の端境期だが、それ以上にペースダウンしている。特にS造の中小クラス物件が少ない。一方で住宅はまあまあ動いている。先行きも明るい感じは見当たらない。
	B	2月に入り、荷動きはかなり悪い。昨年後半からの米中貿易摩擦による製造業の減退、消費増税に加え、新型コロナウイルスの経済的な悪影響が出てきている。しばらく悪い状況が続くだろう。
兵庫		外国人技能実習制度の移行対象職種、作業一覧に鋼板、鋼材の切断の業務が含まれず苦勞している。厚生労働者に意見し、雇用できるようにしてほしい。
岡山		仕事が減少している。引合いも少ない。良いニュースがない。アングル、チャンネルの入荷が遅い。
香川		今年に入り、荷動きが冴えない。特に建築向けの動きが鈍い。設備投資も完全に冷え込んでいる。土木関連も人手不足の影響で進まないケースが出ている。
北九州		荷動き低調にて市況も弱含みである。新型コロナウイルスにより、輸出入関連の規制も出てきており、先行き不透明である。